

# 私のおすすめ

Ban Neko Shimazaki San

中国学園大学・中国短期大学 平松恵子

主人の会社の番猫「シマザキさん」が私のおすすめです。



## 🐾「シマザキさん」の生い立ち

ある冬の日、車にはねられたらしく道路縁に転がっていました。通りかかった主人があわれに思い、会社（自営業です）の軒先に連れ帰ったのが縁となり、以来、みんなから「シマザキさん」と呼ばれ、会社の番猫として居候しています。

## 🐾「シマザキさん」とわたし

私は、休日には会社にでかけ（歩いて数分の所）ブラシをかけることにしています。最初はごろごろ喉をならして喜んでいますが、だんだん興奮してきて、猫パンチを繰り返してくるので応戦しているうちに、最後はけんか別れとなってしまいます。





## 🐾「シマザキさん」の名前の由来

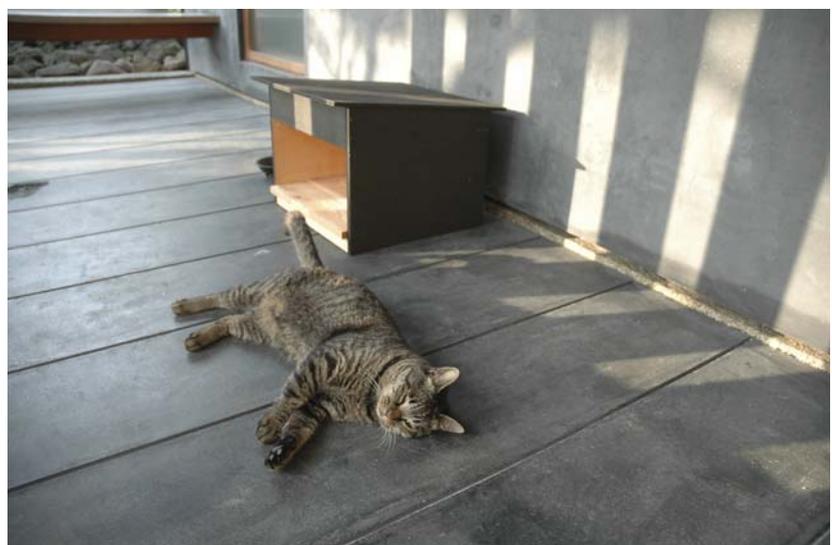
ブラックにわずかに縞模様が入っているので「シマ」の頭名がつけました。

ザキさんというのはちょっとおかしいのですが、主人の会社が住まいなので、クロとかシロとか猫名で呼ぶより、人名で呼ぶ方がなんとなく呼びやすかったのでそうになりました。ともあれ、シマザキさん、皆様にそう呼ばれるようになって、いつしかこの地区の一員になったみたいに感じられるようになりました。



## 🐾「シマザキさん」日々のお務め

シマザキさんの住まいは、会社の玄関先とテラス側の二カ所あります。早朝と夜間、そこで番をするのが仕事です。訪れる人がお客様であれば愛想よくふるまうし、見知らぬ他人であれば、小屋内から睨みを効かせるのが基本的な務めです。訪れる人のない刻は、床に寝そべっているか、川風の通り抜けるテラスあたりでゴロゴロしています。そこからでも社内の様子を十分見届けることができるからです。





## アニマルセラピーに関して

近年、高齢者医療や難病などで長期間の入院を余儀なくされている患者さんの気晴らしに犬や猫などペットと触れ合ったりといった活動も知られており、情緒面での好作用によるQOLの改善といった期待も持たれています。

人と人の間の潤滑油となり、間に動物がいると見知らぬ人でも無意識的に警戒心を解いてしまいます。精神科医の森田正馬氏も療法に動物との接触を取り入れています。

今、さまざまな分野で試行的に行われており、今後の研究に期待が寄せられています。理論背景の一つには感覚統合理論などがあるようです。



### ●シマザキさんのページ

<http://www.mttc.co.jp/shimazakisan/shimazakisan.html>



### ●番ネコ シマザキさん 生いたち - YouTube

<http://www.youtube.com/watch?v=se5pF4JPIYg>

